



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月14日

上場会社名 株式会社システムインテグレータ 上場取引所 東
コード番号 3826 URL <https://corporate.sint.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 引屋敷 智
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経営企画部長 (氏名) 岩井 智史 TEL 048 (600) 3880
四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年2月期第1四半期の業績 (2023年3月1日～2023年5月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	1,112	7.5	49	—	49	—	99	—
2023年2月期第1四半期	1,034	△4.8	2	△98.4	3	△98.0	0	△99.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	9.08	—
2023年2月期第1四半期	0.05	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	3,881	2,819	72.6
2023年2月期	3,780	2,869	75.9

(参考) 自己資本 2024年2月期第1四半期 2,819百万円 2023年2月期 2,869百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期 (予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年2月期の業績予想 (2023年3月1日～2024年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	2,350	8.1	105	△8.8	109	△7.5	136	69.1	12.46
通期	5,000	11.5	392	△3.6	398	△4.4	336	20.0	30.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年2月期1Q	11,078,400株	2023年2月期	11,078,400株
② 期末自己株式数	2024年2月期1Q	160,681株	2023年2月期	160,681株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年2月期1Q	10,917,719株	2023年2月期1Q	10,982,918株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(第1四半期累計期間)	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当社は「時間を与えるソフトウェアを創り続ける」をミッションに掲げ、時代のニーズにあった自社プロダクト製品を用いて、時間という価値を提供しております。

当期は、中期経営計画「SDGs Mind 2021」の最終年度かつ「新2年経営計画」の1年目となります。「新2年経営計画」では「SDGs Mind 2021」で掲げた5つの重点施策を再構築し、新たに4つの重点施策を実施しております。IT業界においてはDX（デジタルトランスフォーメーション）推進を背景に追い風が吹いています。このような環境において、当社は常に最新技術を採用し、お客様のニーズに合ったサービス提供することで競争力を高めてまいりました。引き続き、最新技術を活用してより多くのお客様に時間という価値を提供してまいります。

当第1四半期累計期間の業績は、売上高1,112,339千円（前年同四半期比7.5%増）、売上総利益387,007千円（前年同四半期比28.7%増）、営業利益49,089千円（前年同四半期は2,468千円の営業利益）、経常利益49,222千円（前年同四半期は3,145千円の経常利益）、四半期純利益99,152千円（前年同四半期は602千円の四半期純利益）となりました。当第1四半期累計期間は前事業年度から引き続いて受注確度の高い案件及び受注残の確保に注力した結果、売上高及び各利益が向上しました。また、投資有価証券売却益を特別利益に計上したため、四半期純利益が大きく増加しております。

事業セグメント別の業績の状況は次のとおりです。

なお、当第1四半期会計期間において、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を変更しております。また、前年同期の数値を変更後の事業セグメントの利益又は損失の算定方法により作成した数値で比較しております。詳細は「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等) セグメント情報 II 当第1四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日) 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおりです。

(Object Browser事業)

Object Browser事業は、「Object Browser」のライセンス出荷数が前年同四半期比13%弱の増加、「OBPM Neo」の契約ユーザーライセンス数が前事業年度末比3%強の増加となった結果、当第1四半期累計期間の売上高は185,237千円（前年同四半期比12.4%増）、セグメント利益は87,092千円（前年同四半期比37.8%増）となりました。通期目標の達成のために既存のお客様の解約を減らし、新規お客様の早期獲得を目指してまいります。

(E-Commerce事業)

E-Commerce事業は、前事業年度から事業化した「Adobe Commerce」の初案件が進捗しているものの、アフターコロナでオンライン販売に向いていた投資がリアル店舗販売に分散している状況もあり、当第1四半期累計期間の売上高は202,975千円（前年同四半期比10.8%減）、セグメント利益は49,907千円（前年同四半期比30.0%減）となりました。競争力向上のため、開発手法及びテスト手法の見直し、顧客ニーズを満たすソリューションとの連携強化に取り組んでまいります。

(ERP事業)

ERP事業は、新規のお客様からの引き合いは堅調に推移しており、受注状況についても当事業年度期初に策定した受注計画に基づき推移しております。また、既存のお客様に対するインボイス制度の提案活動を進めるとともに、当社提供ソリューションに適合する業種の新規案件受注活動に注力した結果、当第1四半期累計期間の売上高は705,528千円（前年同四半期比14.7%増）、セグメント利益は137,786千円（前年同四半期比178.4%増）となりました。引き合い及び提案件数は増えていますが、今後は受注率を高め効率的な営業活動を行ってまいります。

(AI事業)

AI事業は、当第1四半期累計期間に実施予定であった検証作業が延期となった結果、当第1四半期累計期間の売上高は8,128千円（前年同四半期比49.0%減）、セグメント損失は8,212千円（前年同四半期は6,218千円のセグメント損失）となりました。外観検査のAIによる実現可能性を訴求し目標達成に必要な十分な案件数を確保してまいります。

(インキュベーションその他)

インキュベーションその他には「TOPSIC」と「IDEA GARDEN」が含まれています。「TOPSIC」は、新規契約獲得数が順調に推移している一方、既存顧客の解約が数件発生いたしました。「IDEA GARDEN」は、「ChatGPT」を提供する「OpenAI社」のAI技術を積極的に採用し、イノベーション志向のお客様から引き合いをいただいております。以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は10,469千円(前年同四半期比5.1%減)、セグメント損失は18,489千円(前年同四半期は20,425千円のセグメント損失)となりました。引き続き、新規顧客開拓及びカスタマーサクセス体制の強化に取り組んでまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ192,473千円増加し3,285,242千円となりました。これは主に、現金及び預金の増加279,126千円、その他の流動資産の増加102,115千円、売掛金の減少196,535千円などによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べ90,992千円減少し596,327千円となりました。これは主に、投資その他の資産の減少90,711千円などによるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べ101,481千円増加し3,881,569千円となりました。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ150,913千円増加し1,061,740千円となりました。これは主に、契約負債の増加143,029千円、その他の流動負債の増加100,922千円、買掛金の減少31,269千円、賞与引当金の減少61,812千円などによるものです。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ49,432千円減少し2,819,828千円となりました。これは主に、四半期純利益の計上99,152千円、配当金の支払い87,341千円、その他有価証券評価差額金の減少61,243千円などによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月14日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,964,228	2,243,354
受取手形	—	35,532
売掛金	562,880	366,345
契約資産	417,435	375,130
仕掛品	10,501	25,041
貯蔵品	16	16
その他	137,705	239,820
流動資産合計	3,092,768	3,285,242
固定資産		
有形固定資産	68,005	70,928
無形固定資産		
ソフトウェア	318,863	315,659
その他	170	170
無形固定資産合計	319,033	315,829
投資その他の資産	300,279	209,568
固定資産合計	687,319	596,327
資産合計	3,780,088	3,881,569
負債の部		
流動負債		
買掛金	180,454	149,185
契約負債	318,702	461,731
賞与引当金	145,467	83,655
受注損失引当金	—	45
その他	266,201	367,123
流動負債合計	910,826	1,061,740
負債合計	910,826	1,061,740
純資産の部		
株主資本		
資本金	367,712	367,712
資本剰余金	357,712	357,712
利益剰余金	2,173,160	2,184,971
自己株式	△90,566	△90,566
株主資本合計	2,808,017	2,819,828
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	61,243	—
評価・換算差額等合計	61,243	—
純資産合計	2,869,261	2,819,828
負債純資産合計	3,780,088	3,881,569

(2) 四半期損益計算書

(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年3月1日 至 2022年5月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)
売上高	1,034,421	1,112,339
売上原価	733,781	725,331
売上総利益	300,639	387,007
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	89,204	103,882
賞与引当金繰入額	24,488	29,672
業績連動報酬引当金繰入額	1,307	—
その他	183,171	204,362
販売費及び一般管理費合計	298,171	337,918
営業利益	2,468	49,089
営業外収益		
未払配当金除斥益	184	—
助成金収入	500	—
講演料等収入	—	110
その他	1	22
営業外収益合計	685	132
営業外費用		
為替差損	8	0
営業外費用合計	8	0
経常利益	3,145	49,222
特別利益		
投資有価証券売却益	—	88,397
特別利益合計	—	88,397
特別損失		
固定資産除却損	0	2,461
特別損失合計	0	2,461
税引前四半期純利益	3,145	135,158
法人税、住民税及び事業税	452	13,987
法人税等調整額	2,091	22,018
法人税等合計	2,543	36,005
四半期純利益	602	99,152

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自2022年3月1日至2022年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	Object Browser 事業	E-Commerce 事業	ERP事業	AI事業	計				
売上高									
一時点で移転される財又はサービス	60,151	69,712	130,867	14,315	275,047	—	275,047	—	275,047
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	104,691	157,790	484,227	1,625	748,336	11,037	759,374	—	759,374
外部顧客への売上高	164,843	227,503	615,095	15,940	1,023,383	11,037	1,034,421	—	1,034,421
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	164,843	227,503	615,095	15,940	1,023,383	11,037	1,034,421	—	1,034,421
セグメント利益又は損失 (△)	63,207	71,265	49,491	△6,218	177,745	△20,425	157,319	△154,851	2,468

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに該当しない新規事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△154,851千円は、事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	Object Browser 事業	E-Commerce 事業	ERP事業	AI事業	計				
売上高									
一時点で移転される財又はサービス	17,060	131,340	177,550	—	325,951	—	325,951	—	325,951
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	168,177	71,634	527,977	8,128	775,918	10,469	786,387	—	786,387
外部顧客への売上高	185,237	202,975	705,528	8,128	1,101,869	10,469	1,112,339	—	1,112,339
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	185,237	202,975	705,528	8,128	1,101,869	10,469	1,112,339	—	1,112,339
セグメント利益又は損失 (△)	87,092	49,907	137,786	△8,212	266,574	△18,489	248,085	△198,995	49,089

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに該当しない新規事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△198,995千円は、事業セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、事業セグメントごとの経営成績をより適切に把握するため、当第1四半期会計期間より、各事業セグメントに帰属しない一般管理費の配賦を行わず、セグメント利益又は損失の調整額に全社費用として計上する方法に変更しております。

なお、前第1四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の事業セグメントの利益又は損失の算定方法により作成したものを記載しております。